> SDGsとNPH

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS

世界を変えるための17の目標



2015年9月に、国連サミットにおいて、「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、17の目標と169のターゲットから成る「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」が策定されました。これは、持続可能な社会を実現するために、2016年から2030年までの国際目標です。

▶ 17目標と169ターゲットの詳細

SDGs (持続可能な開発目標) は、17の目標とその目標を達成するための169のターゲットから成り立っています。 169のターゲットは総務省のホームページでご覧いただけます。

http://www.soumu.go.jp/toukei toukatsu/index/kokusai/02toukatsu01 04000212.html









日本の交通安全技術を世界へ

(JICA2019年度課題別研修-都市内道路整備コース)

SDGsの目標とターゲットを実現するために、交通事故による死亡者数を削減しなければなりません。発展途上国では交通 安全施設が十分に整備されてないことが、交通事故や交通渋滞の原因の一つになっています。交通標識は道を案内することだけではなく、危険性がある場所で注意を促したり、交通の流れを整えたり、歩行者を守ったり、交通安全を図るために設置されています。また、道路に書かれている区画線も安全施設として、交通の誘導など重要な役割を果たしています。

安全な交通環境づくり、交通安全施設の必要性を再認識するために、発展途上国の研修員が参加されるJICA2019年度都市内道路コース研修の一部として、道路安全施設などの製作工場見学を実施しました。主に交通標識の種類、構造、管理などの説明をしたり、製作工程を見学したり、ミニチュア標識の製作体験をしたり、道路区画線の施工を説明したりしました。

この活動は、2019年7月18日のTSS新広島「プライムニュース」で放送されました。また、広島県が作成した「未来につなげるSDGsとビジネス2ー広島における企業の取組現場から」にも掲載されておりますので、詳細は下記のURLからご覧いただけます。

https://hiroshimaforpeace.com/sdgs-and-peace/hiroshimasdgs02/

開催日時:2019年7月18日(木) 9:00~12:00

2019年10月3日(木) 9:00~12:00

参加者 : イラク、東ティモール、ベトナム、イエメン、ウガンダ、エチオピア、ガンビア、ザンビア、

コンゴ民主共和国、ジンバブエ、タンザニア、ベナン、ナイジェリア、モザンビーク

計14ヵ国から16名の行政官

主な活動:交通標識の種類、構造、管理の説明

製作工場の見学

道路区画線の施工実演と説明

ミニチュア標識の製作体験









参加者からの感想:

「国で生かしていきたいと思います。例えばいままで使っていなかった新しい標識というものもありますし、製作方法や素材も学びましたので国に帰って担当者に伝えていきたい」。 (イラクからの研修員)

「自分たちは道路の設計者とか、道路関係のネットワークに関わるものとして、このようなつながりがすごく大切だと感じております。道路の建設関係について実践的なもの、いっぱい教えていただいて、本当に感謝しております。それぞれの国に帰りましても、実務的なこと、いろいろな知識を活かしていきたいと思います。 (エチオピアからの研修員)







交通安全を次世代に

(子供の職場参観日)

仕事と家庭を両立する社員が増えている中、ご家族の方にお父さん、お母さん、息子、娘が職場で活躍している様子を見てもらうために、出島事業所の道路標識製作部門で工場見学を実施しました。工場見学や交通安全クイズ、光反射体験、道路標示施工(ライン引き)実演、ミニチュア標識製作体験などによって、子供が家族の仕事について理解することができただけでなく、普段見られない職場の親の姿を見られたり、なかなか体験できないことを体験できたり、標識や道路の白線など身近なものを知ることもできました。この活動を通じて、親子のコミュニケーション促進や、職場における相互の理解を深め、従業員が仕事に対する誇りと社会貢献意識の向上、子供たちの交通安全意識向上など次世代の育成につながります。この活動は広島県の「こどもの職場参観日」に掲載されておりますので、下記のURLからご覧いただけます。

https://www.pref.hiroshima.lq.jp/site/shokubasankan/hiroshima-parker.html

開催日時:2016年12月26日(月)13:00~16:00

2017年7月29日(土) 13:00~16:00

参加人数:子供 37人

大人 35人 計72人

主な活動:会社概要説明

自己紹介

標識製作工程の説明

交通安全ビデオ上映、クイズ

標識製作工場見学、実物大標識展示物見学

道路標識ライ引きの実演

標識の光反射体験、ミニチュア標識製作体験

高所作業車乗車体験











参加者からの声

- お父さんのかっこいいところを見られたし、普段できないことができて嬉しかったです。
- 日頃は顔を合わせることのない従業員の家族が、コミュニケーションをとる場所ができたことはとても有意義でした。
- 見学会に来て交通ルール、標識の作り方などいろいろんことが分かったので良かったです。
- 標識や道路の白線など身近に目にする物に関わっているので、改めて社会の役に立っていると実感できました。
- 子供や親御さん達の笑顔や真剣に見つめる様子を見ると、実施して良かったなと思います。









働きやすい職場の実現

従業員を尊敬する職場づくり

従業員一人一人を尊重し、将来に向けて発展を続けるために、人種・性別・国籍・年齢・役職・障害の有無などをとらわれることなく、一人ひとりが活き活きと働くことができる職場づくりを推進しています。

▶人事制度の変革

社員のモチベーションを高め、業績の向上と長期的な会社 の発展を促すために、新しい人事制度を導入しました。社員 一人一人の期待される役割を明確にし、一人一人のキャリア 形成の道筋を明確にした上で、それぞれ適切な能力やスキル、知識を持つことによって、将来のキャリアに導くような教育 体制となっています。

▶社内教育の実施と社内制度の見直し

働きやすい職場環境づくりに向けて取り組む事の一環として、ハラスメントに関する理解を深めるために、社会保険労務士を招き、まずは管理職を対象に社内研修を実施しました。また、ハラスメントに関する社内規定を見直し、適用範囲を広げたり、利害関係のない中立者を相談窓口として設置したり、研修で社内規定の詳しい内容を説明したりしました。

安全・健康な職場づくり

▶従業員へのヘルスケア

毎年全社員に健康診断を実施し、検診後有所見者に対し、 会社から再受診してもらうよう個別に指示しています。また、



体の健康状態だけでなく、従業員の心理 的負担の程度を把握するために、2017年 からストレスチェック制度を導入し、検 査及び面接指導を実施することによって、 予防や早期発見など従業員の精神保健を 促進しています。従業員がヘルス不調に なることを未然に防ぎ、業務パファーマ ンスが向上することが期待できます。

▶万が一のための講習会

万が一の場合、目の前で倒れている人が心停止の可能性がある場合、一刻も早い救命処置が必要です。そのため、専任のインストラクターを招き、従業員を対象に、心肺蘇生とAEDの使用方法を体験する講習会を行いました。

また、本社ビルや各事業所内に設置してあるAEDの場所を再確認し、万が一の時従業員だけではなく、近くの地域住民の方々にも助けられるチャンスを与えています。



▶事故防止対策

日々自動車を運転して仕事をする従業員が多いため、常に 安全運転を心がけているだけではなく、事故防止のために、 参加希望者全員に運転シミュレーションを行い、その結果か ら運転に対し気をつける点などを自動車保険会社が診断し、 今後の事故防止に役立つ取り組みを行っています。

ワークライフ・マネジメント

▶女性活躍の推進

女性従業員の活躍を推進するために、広島県女性活躍支援「出前講座」を開催しました。社外の講師を招き、「女性従業員のためのキャリアアップ」をテーマに、グループ会社を含め、女性社員21人が出席しました。

まずはグループワークを通して自分のソフトスキルを知った上で、理想のライフ&ワークを一緒に考え、さらに会社の未来を考えました。それから、講師は無意識の思い込みや無意識の偏見など、いわゆる「アンコンシャス・バイアス」について説明し、女性ならではのコミュニケーションがとれる場作りというマネージメントスキルについても実例を出しながら、説明しました。参加者からたくさん感想と気づきをいただきました。



参加者の感想と気づき:

- ・自分のことを見つめ直すことができた
- ・グループワークの時、今まで気づいてないことや慣れてき たことに対しても、褒めてくれてすごく嬉しかった
- ・自分のことを知れば、今と違うコミュニケーションの取り 方もできるではないかと思った
- ・セミナーを聞いて、自分が認識している女性管理職の概念 や内容、やり方などが違うものになって、新しい視点から考 え方が生まれた

▶「イクボス同盟ひろしま」への加盟

職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる経営者を目指すために、代表取締役の中山文宣は2016年「イクボス同盟ひろしま」のメンバーになりました。

取組としてはノー残業デーの実施や テレワークの導入、有給休暇取得率の 向上、職場参観日の実施など様々な分 野で従業員のワークライフバランスを サポートしています。











全ての人に安全な交通環境

ヌマジ 交通ミュージアム企画展

ヌマジ 交通ミュージアム(広島市交通科学館)では、平成28年10月14日(金)~12月4日(日)までの休園日を除く44日間、平成28年度秋季企画展「交通安全探偵団~さぐろう!交通安全のひみつ」を開催しました。当社は協力会社として、身近にある道路標識や道路安全施設などの実物展示を通して、わたしたちが交通事故にあわないように設置されてい

る設備や施設を紹介しました。また、道路標識反射体験BOXを設置し、 来場されたお客様に自分の目で反射のしくみを体験しながら学んでい ただきました。さらに、標識や信号機だけではなく、交通安全クイズ も用意し、子供たちにも楽しみながら啓蒙することができました。

来場されたお客様が実物の標識板の大きさに圧倒されたり、トンネル内で使用されているデリネーター(視線誘導標)の仕組みを体験されたり、展示物やイベントなどを通して、道路安全施設が交通安全にどんな役割を果たしているのかを更に認識し、交通安全意識の向上にもつながりました。



実施日:2016年10月14日(金)~12月4日(日)

9:00~17:00

実施場所:ヌマジ 交通ミュージアム

(広島市交通科学館)







「子供を守ろうプロジェクト」の推進

広島安全施設業協同組合の一員として、土砂災害で被災した地域で防災マップを設置しました。「子供を守ろうプロジェクト」の推進事業として、広島市安佐南区緑井地区の公園や緑井小学校の正門など5ヵ所で設置し、子供にも伝わりやすいように工夫したり、周辺の土砂災害警戒区域や浸水想定区域を着色したり、市の指定緊急避難場所の位置を示した

り、地域住民の命を守るための避難行動に役に立っています。

この活動はRCC中国放送で取材され、2019年7月4日の中国新聞にも記事がありました。詳しい情報は下記のURLからご覧にいただけます。

http://www.anzenhiroshima.jp/?cn=100130

